

秘

昭和八年七月至八月
衛生業務旬報

混成第四旅團司令部

護衛隊官 混成第一旅團司令部附 陸軍二等軍醫 中野鐵治
 昭和八年正月十日 衛生業務旬報 於山海關 混成第一旅團司令部
 一 部隊行動ノ概要

諸隊ハ概ネ前旬同様ノ態勢ニ在リ、以テ懸江部隊ヨリ
 八第六中隊（小砲一分隊ヲ屬ス）津河水運ノ掩護ヲ支
 那軍動靜監視ノ任務ヲ以テ、十日、遼陽營出發、撤河橋ニ
 派遣セリ、其他各部隊ニモ、警備地附近ニ於テ示威行
 軍ノ目的ヲ以テ、小部隊ノ行軍ヲ實施シ、或ハ小部隊ニテ
 匪賊討伐ヲ實施シタルコトアルモ、大体ノ態勢ニ變化ナク、
 七月中旬ニ於テ、各部隊ノ配置狀況別紙要圖ノ如シ、
 二 衛生機關業務ノ概要

衛生班ハ前旬ニ引續キ、依然山海關奉山欽路醫院外ニ開設
 中ナリ、本旬間收容シタル患者數ハ、戰傷一、猩紅熱一、

(駐屯軍) 平痲病 計一一名ニシ本旬間後送シタルモノナシ
旬間ニ於ケル 齒科 受診患者 八六五名、其ノ總治療日
數一〇六日ノ多數ニ達セリ而シテ 齒科 醫官 八名中 歩三ノ
中 第一大隊ヘ 齒科 治療ノ為 二十日 一回出張セリ、其他 衛生
班ニテハ 在 山 海 關 部隊 中 醫 官 ナキ 部隊ノ 診療 及 檢 査
ヲ 担任 シ 居 レリ、
三 患 者 輸 送 ノ 状 況、
衛生班ヨリ 本旬間 患者ヲ後送シタルモノナキ 建昌營 歩
三五ヨリ 七月十日 三名 飛行機ヲ以テ 錦州 衛戍病院 (空輸セリ、
四 衛生材料 補給ノ 狀況、
一 衛生班 及 歩三五ヨリ 請求シタル 治療用 衛生材料ヲ奉天
陸軍 倉庫ヨリ、受領セリ、但シ 建昌營 歩三五ハ 七月十七
日 錦州ヨリ 奉天 陸軍 倉庫ニ 輸送シタルモノアリ、但シ 補給 數一ニ相ナリ、

又、七月十七日 陸軍 衛生部長ヨリ コレヒ 豫防 接種液三、ニ、〇人
分送付ノ通牒ヲ受テタリ、然ルニ 目下 兵 第一四大隊ヨリニ
小隊 配屬中ナルヲ以テ、其トニ 必要ナル 八〇人 分ヲ 追加 請求
シタルニ 十九日 倉庫ヨリ 送付セシタル旨 通知アリタリ、
又 先般 軍 衛生 醫 官 部長、病院 長、會議ノ際 意見 具
申 依頼シ置テタル、咳 痰 檢 査 用、顯 微 鏡 二 具、屬 具
一 具、十八日 衛生班ニ 到着セリ、
五 般 衛生 狀 態、
一 患 者 狀 況、

本旬間 各 部隊ノ 休業 以テ 新 患 總 數 八 四 八 名 ヲ 算 シ
内 名 八 戰 傷 他 八 平 痲 ニ シ テ 二 則 旬 ニ 比 シ 一 名 ヲ 減 シ タ リ、
患 者 中 多 數 ナ ル ハ 急 性 胃 腸 炎、一 四 名 痲 名 未 定、一
二 名 感 冒 性 疾 患、八 名 外 傷 及 外 被 病、各 四 名、

痔疾三名、戰傷者花柳病、肺炎各一名、順序トス、
 患者中將校患者ニ急性腸炎一、兩側肺炎患者一アリ
 部隊別患者ノ狀況左表ノ如シ、

部隊別患者表

部隊別	患清数	新患数	治愈	転送	後遺	摘	要
歩三五ノII	四			一	三		
歩二六ノII	二			一	二		
歩二七ノI	五		一	三	一		
歩二八ノII	一六		一四	二			内戦傷一名アリ、 肺炎三名、急性腸炎一名、 急性胃腸炎一名アリ
騎七ノII中	一三		六		七		
野砲七ノII	五		二	一	二		
通信隊	二			一			
第三班	一			一			

名綴履ノ狀況

着変ナキニ防暑被服ニ各隊ニ若干宛試験的ニ交付シ、
 下二官以下ニ支給シタリ、其ノ他軍靴ノ部分交換ヲ行ヒ
 又新ニ欽帽ヲ覆ヲ支給シタリ、防暑被服、防暑帽、鉄
 帽ヲ覆ヲ着用セル狀況寫眞ノ如シ、
 又糧秣ノ狀況

着変ナキニ

兵宿營ノ狀況

着変ナキニ在山海關部隊ハ寢菜班ニヨリ各隊共概ネ
 希望セル小修理模樣換、増築等ヲ終了シ宿營上概ネ
 遺憾ナキ程度ニ達セリ、但シ入浴場ハ用水ノ關係ヲ隊
 外ニ造營セ、依然市街ノ支那風呂ニ行カシメ居レリ、
 給水ノ狀況

前旬より変化ナシ山海關ニテ飲料水運搬ノ状況別紙寫
 眞ノ如シ
 〇氣象ノ状況

最近暑氣最モ著ク、殊ニ唐山附近ニ於テハ日中四〇度以
 上ニ達シタルコトアリ、夜間熱降スル能ハサル状況ナリキ、旅團
 司令部ニテ測定セル氣溫表次ノ如シ、
 於山海關、

月日	天候	測定時間別			月日	天候	測定時間別		
		午前七時	午後二時	午後十時			午前七時	午後二時	午後十時
一月一日	晴	二四〇	三五〇	二五〇	一月六日	晴	二九〇	四三〇	三三〇
一月二日	〃	二四〇	三五〇	二五〇	一月七日	〃	二九〇	四三〇	三三〇
一月三日	〃	二四〇	三五〇	二五〇	一月八日	〃	二九〇	四三〇	三三〇
一月四日	雨曇	二四〇	三五〇	二五〇	一月九日	〃	二九〇	四三〇	三三〇
一月五日	晴	二四〇	三五〇	二五〇	一月十日	〃	二九〇	四三〇	三三〇

六防疫及衛生施設

ノ又那鵝奴ノ檢査ハ十日實施シ爾後毎週一回實施スル
 フト決定セリ、成績ハ極メテ不良ニシテ、概ネ三〇%以上ノ
 罹病者アル状況ナルモ、諸種ノ關係ニテ駐留規定ヲ立入
 ヲ解禁スルトニ決セリ、

之ヲ那鵝奴ノ罹病者ノ治療ヲ滿洲国々境檢疫所醫
 員ニテ治療ヲ實施スルフトニ協定實施セリ、

二十五日軍醫團部ヨリ北平ニ眞性コレラ一名発生シタル旨通
 知アリ、翌ニテ日承徳ニ一名去ル十七日発生シタル旨通
 知ヲ受ケタリ、

4 右ニヨリコレラ豫防ニ萬全ヲ期セシレ度旨軍醫團部ヨリ
 通牒アリタルヲ以テ各隊ニ通牒シテ遺漏ナキヲ期セシタリ、
 5 腸チラスハラAB豫防接種ハ各隊概シテ先旬ヨリ實施シ

ニシテ旅團司令部ハ左記日割ニヨリ實施ヲ開始セリ、

第一回、第二回、第三回、第四回

甲班 七月二十日 七月二十七日 八月三日 八月十日

乙班 七月二十七日 八月三日 八月十日 八月十七日

七其他必要ト認ムル事項、

七月十五日 部隊長會議ヲ開催セラレ司令部附軍醫正

八別冊ノ如ク衛生成績向上ニ関シ同席上ニ於テ口演ヲナシ

隊長ノ奮勵ヲ希望シタリ、

又衛生班附陸軍二等軍醫白岩義明兩側肺炎ニ

罹リ十八日 衛生班ニ入院セリ、白岩軍醫ハ歩三八ノ第三大

隊濱崎軍醫ノ入院セシ後歩三八ハ臨時配屬中ナリシヲ

以テ今回野砲隊市村軍醫ヲ歩三八ハ臨時配屬セシメ、左

山海關部隊ノ診察ハ歩三八ト衛三陸ニシテ、

ナリ、

又衛生班ヨリ豫不テ野砲兵第五中隊ハ配屬中ナリシ龍着

護兵ハ七月十六日帰班シタリ、

八意見 ナシ、